



主催：日本リアルオプション学会＋日本不動産金融工学学会

共催：青山学院大学大学院国際マネジメント研究科

① AI-Tipsハンズオン・デモ「パイプコーディング」

② 講演テーマ：『半導体産業とAIの展望』

講師：長内 厚（おさない・あつし）氏（早稲田大学ビジネススクール教授）

早稲田大学大学院経営管理研究科教授、専門は技術経営(MOT)、経営戦略。1997年、京都大学経済学部経済学科卒、ソニー株式会社入社。筑波大学大学院修了、京都大学大学院経済学研究科で2007年に博士(経済学)取得後、研究者に転身。神戸大学経済経営研究所准教授。2011年、早稲田大学商学学術院准教授。2016年より現職。早稲田大学IT戦略研究所研究員、早稲田大学台湾研究所研究員兼任。ハーバード大学客員研究員、台湾東海大学国際学院訪問教授、京都大学経営管理大学院研修員、2016年～現在、九州大学大学院経済学府客員教授、ビジネスブレークスルー大学大学院客員教授などを務める。YouTubeチャンネル『長内の部屋』、フジテレビLive News αレギュラーコメンテーターなどで情報発信している。



司会：小林秀二氏 早稲田大学国際不動産研究所 本研究会の世話人(ディレクター)

日時：2026年10月21日(水)18:40～20:30(受付18:15～、オンライン開始18:40～→デモ18:40頃～→ご講演19:00～→質疑応答20:10～20:30)

場所：青山学院大学 青山キャンパス 17号館 12階 H1229 教室

渋谷区渋谷 4-4-25 交通アクセス：<https://x.gd/KzM5N>

キャンパス内地図：<https://x.gd/kDoKz> および ZOOM

第5回研究会では、「半導体産業とAIの展望」をテーマに、早稲田大学ビジネススクールの長内厚教授をお迎えします。生成AIの急速な普及を背景に半導体の重要性が一段と高まり、世界各地で巨額の設定投資と新たな産業集積が進んでいます。本講演では、技術経営・経営戦略の視点から、AI時代における半導体産業の構造変化や企業戦略、サプライチェーンを展望します。さらに、台湾、熊本、北海道・千歳などの事例を踏まえ、電力・水資源・物流などのインフラと産業立地との関係、関連企業の集積、雇用、地域経済、都市・不動産への波及など、半導体産業が地域にもたらす幅広いインパクトについて考えます。

参加費：無料 参加対象：オープン(一般/非会員も参加可)

定員：対面20名[会員優先]＋オンライン100名

録音・録画・撮影等のご遠慮ください

参加申込み／お問い合わせ：日本リアルオプション学会ウェブサイト <http://realopn.jp/> の「[公開研究会](#)」のフォームから

本会は、学会員以外の方にも公開されます。セミナーへのお申込みとオンライン参加時には正しい名前・所属を記入/表示するようにお願いします。(イニシャルやローマ字表記は不可です)三重申し込み、eメール間違い、期限後の申し込み希望や変更が多発しています。ご注意ください。

参加締切りは、二日前のお昼までです：10月19日(月)正午まで。対面の定員に達しましたら、オンラインでの参加をお願いします。ご欠席される場合は、必ず事前に連絡をお願いします。また、終了後に近隣のお店にて懇親会(有料)を予定しています。

※ 問い合わせは日本リアルオプション学会(info@realopn.jp、平日16:30まで)へ。会場の青山学院大学に問い合わせをしないようお願いします。